

第 **19** 号  
2016.11

# HARMONIA

ハルモニア マガジン

# MAGAZINE



安全！だから安心？



藤枝・志太  
安心して暮らせますか？

——静岡は住みやすいと言われることが多い地域ですが、実際、藤枝市、志太地域に暮らしている皆さまはそう感じられますか？

**大長(以下、大)** 私は静岡出身ですが、長く神奈川県で仕事をしていました。その頃と比べても、やはり静岡、志太地域は暮らしやすいですね。温暖で、山の幸や海の幸、四季折々の食材も豊富です。人も、テンポがゆったりしています。

**大塚(以下、博)** 私も藤枝で生まれ育った一人ですが、この地域は住みやすいと確信しています。気候も良く衣食住の不便さありません。**中野(以下、中)** 衣食住も気候も、とても恵まれていますよね。食の安全、安心というのが私の専門分野ですが、静岡は安心して物を選べる地域だと感じることが多いです。

**森** 私も藤枝で生まれましたが、昔は家のすぐ裏にある小学校へ行くにもヘルメットをかぶって登校していたんです。防災頭巾になる座布団を利用しているのも、他県の教員と話すとき驚かれますね。静岡県は住みやすいけれど、いつ地震が起きてもおかしくないため、きちんと対策をしていると思います。



食の安心  
不確定な安心に  
惑わされていませんか？

——一方で、不安を感じることはどんな部分でしょうか？

**中** 最近気になるのは食品や食材の広告で、誤解が生まれているのではないかと…という点ですね。静岡に限ったことではありませんが、食品メーカーが消費者のニーズに応えて次々新商品を作る一方で、その情報や取り入れ方が正しく消費者に伝わっていない現状があります。例えば、トクホとはどういうものが普通の食品とどう違うのか、知らずにイメージだけで選んでいる人は少なくないんじゃないでしょうか。

**森** トクホと表示してあると、つい安心して、成分も見ずに買ってしまうのは分かります。

**中** トクホとは、特定保健用食品の略。健康が気になる方を対象にしている食品で、医薬品とは違います。病気の治療のために使用するものではなく、過剰摂取による害があることもあります。まずは、普段の食生活を正すことが大前提なんです。そのあたりの線引きが普通の人には伝わりにくいんですね。サプリメントも同様です。**大** 分かります。私はなるべく自然体で、サプリメントなどに頼らず食事のバランスを考えて食べる

今回は私たちの「暮らし」における様々な安心と安全について防犯、食品、教育、福祉、各分野のスペシャリストに語っていただきました。辞書を引くと【安心】とは、気にかかることがなく心が落ち着いているの意。障がい者を含む地域社会みんなが安穩に生きるためにはどうしたらいい？

**中野ヤスコさん** Yasuko Nakano  
管理栄養士、公認スポーツ栄養士、食の学び舎くろみ代表  
フリーの管理栄養士として、食育、料理教室を企画運営するなど「食のマーケティングコンサルタント」として活躍中。藤枝市の「くろみキッチン」プロデュースや、陸上をはじめとする実業団にスポーツ栄養士として関わる。2児の母としての一面も持ち、悩めるママたちの信頼も厚い。

Akiko Daicho  
**大長昭子さん**  
社会福祉法人ハルモニア理事長  
焼津市生まれ。38歳から神奈川県相模原市にて福祉活動を始め、昭和57年に障がい者地域作業所「すずらんの家」設立。平成16年藤枝市に社会福祉法人「ハルモニア」設立。知的障がい者通所更生施設エンゼルハート事業を皮切りに、成人、児童、保育、グループホームなど福祉事業を展開。

Hiromi Otsuka  
**大塚博巳さん**  
株式会社中央防犯取締役社長  
藤枝市生まれ。昭和49年入社、平成17年代表取締役社長に就任。静岡県の警備保障会社として、セキュリティ総合サービスを提供する一方、地域スポーツ発展にも尽力し、藤枝市サッカー協会会長を務めている。

**森亜矢子さん** Ayako Mori  
小学校教師、臨床心理士

小学校通常学級の担任を12年間経験。平成17～18年度、鳴門教育大学大学院学校教育専攻教育臨床コース修了(内地留学)。平成21年より、発達障がい児の指導担当や特別支援コーディネーターを務める。子育ての悩みを抱える保護者や困り感を持つ子ども達の相談に応じたり、「特別支援教室」や「教育相談」をテーマとした講演会を行ったりしている。

巻頭座談会

# 誰もが安心して暮らすためにできること

**博** 私は今、藤枝市のサッカー協会の役員をしておりますが、スポーツ少年団でも食育に力を入れていきます。藤枝市でもフードフェスタが開催されるなど、食育は注目されていますよね。サッカーの技術も必要ですが、体を作ることも大切で、安全な食を子どもたちに教えてほしいですね。

**大** 食育は幅が広いですね。保育園では自分たちで野菜を作って食べることもありますし、ハルモニアにも管理栄養士がいるので普段の食事から食育が出来るよう取り組んでいます。

**森** 学校の授業にも食育が積極的に入ってきていますね。今は法改正されて、栄養教諭が食育の授業を行うことができるようになりました。今、特に一番気を配るのはアレルギー。献立表で、ダメなものを保護者にチェックしてもらい、場合によってはお弁当を持ってきてもらいます。全職員でも共通理解するようになっています。

**大** 食品表示法が変わってアレルギーを表示することが義務付けられるようになりましたね。私たちはお菓子も取り扱っていますので、制度に則って販売できるように、対応しています。



子育ての安心  
スポーツで地域交流を！

——子どもを取り巻く状況も、昔に比べて大きく変わってきました。子どもが健やかに成長し、誰もが安心・安全に暮らしていくには、何が必要でしょうか？

**森** 私は仕事上、学校などで保護者や子どもたちから相談を受けていますが、「子育てに関して相談できる人が身近にいない」という人が増えているように感じます。昔は近所の人や、同居している祖父母に子育ての悩みを聞いてもらったりしたのですが、核家族化が進み、働く女性が増えているのに、サポートする制度が追いついていない気がします。待機児童や育児放棄が大きな社会問題になっていますので、もっと学校・地域・家庭でコミュニケーションが取れる環境や仕組みづくりが必要ですね。

**博** 藤枝市内の各地域でスクールガードが発足して、登下校中の声かけ・見守りが増えていますが、あれはいいですね。挨拶運動にもなるし、コミュニケーションが生まれています。ただ、サッカー協会の立場から見ると、少子化もあってスポーツ少年団に所属している子どもがぐっと減っていることが気になります。少年団はスポーツを通じて組織の大切さや大人との関わりも学んでいく場なので、文化系も同様ですが、先輩がいたり後輩がいたりする中で育つ環境は必要だと感じますね。

**中** 小さいうちからスポーツを経験することで、自分なりのストリ

又発散を知っておく、というのも大切なことですね。モヤモヤの解消方法が分かれば犯罪の抑止にもなると思います。

**大** 私たちは一般の人も障がいのある人も関係なく、子どもから大人まで巻き込んで、スポーツのイベントを開いたりしています。特にサッカーは、ある程度対等に戦えるんですよ。ぜひ仲間をどんどん入れて、みんな一緒にスポーツを楽しめる、という風になってほしいですね。



藤枝と地域の治安  
安心して暮らすために...

——治安の面では、藤枝は安心、安全と言えますか？

**博** 警察関係者に伺うと、体感治安はよくなっていると言われています。藤枝警察署、藤枝地区防犯協会の資料を見ると、藤枝市の犯罪件数は県下27警察の中で12番目。検挙件数も上がってきています。藤枝市の治安はいいと言えるでしょうね。ただ、全国的に見ると、犯罪件数が減っている一方で、些細なことから殺人事件など凶悪事件に発展するケースは増えているんです。振り込め詐欺の被害も相変わらず多いですね。金融機関などでも防犯策に努めていますが、なかなか減らないようです。**中** 車をロックしていても物を盗

られることが近所でありました。**博** 今は警報音が鳴るようなシステムも多くなっていますが、車上荒らしを防ぐ一番の方法は車の中の見えるところに物を置かないこと。施設していても簡単にこじ開けられてしまうんです。一時期はカーナビが狙われたり、「居空き」といって家の中にも盗みに入るといった犯罪も発生していました。**大** 都市部では考えられないことですが、藤枝では外出するときに鍵をかけたあたりのお宅もまだあるようですね。**博** 施設はもちろん基本ですが、夜間などはセンサーライトを活用するのがいいですよ。犯罪者はとにかく大きな音や見られることを嫌います。最近はLED式で簡単に取り付けられる商品も出ていますので、活用していただければ。**中** 7月に相模原市の障がい者施設で痛ましい事件がありました。さまざまな報道がされていますが、どのような問題や課題がありますか？**博** 施設自体のセキュリティという面では、いろいろ課題、対策は考えられますが、実際多くの人生活している施設を、常時施設としておくわけにはいきませんよね。**大** 今回の事件は、犯人が最初から事件を起こす目的で侵入しているので、防ぐことは難しかったかもしれません。ただ、犯人一人を悪として終わるのではなく、行政や病院などの課題、労務管理など



ハルモニアの職員にも、表に出さない人にこそ目を向けるべきだと話しています。私たちは障がいのある人を中心にサポートしていますが、そういう人たちは生きていく上でマイナス思考の体験もしています。中にはトラウマを抱えるほどの人もいて、それを安心感に変えていくには時間がかかります。そういう方たちに安心して人生を送ってもらうことが私たちの願い。子どもから高齢者まで、障がいあるなし関係ない「居場所づくり」を目指していますが、具体的な実現となると、社会の変化も激しい中で「何が安心か」は永遠の課題なのかもしれません。

博 常軌を逸した事件ですが、一瞬でカッとしてやったことではないですよ。事件を起こすまでの間に、異常に気付いた人もサポートの必要性を感じた人もいたかもしれない。そのプロセスに誰かが声をかけていけば、あるいは防げたのかもしれない。森 そうですね。その人が成長する過程を家族だけでなくいろんな人が見て、サインや兆候に気付く場面はあったと思います。ただ、社会や地域のコミュニケーションが薄れつつある今、奇抜なことを起こすまで気付かれにくい現実もあります。学校でも、例えば授業妨害や暴力など、目立つことをする子にはサポートが入りやすい反面、おとなしく困っている子は見逃されやすいですね。中学生くらいでようやく心の問題が浮かび上がってくるケースも多く見られました。事件を起こす人たちも、それまでにいろんなサインを出しながら、何か秘めたまま大きくなってしまったのでは。そういう子たちに大人が気付く、複数の手で育てていく。そういう社会になればいいと思います。

大 静かにしている人も内面で困っていたり、くすぶらせていたりすることが少なくないですね。みんなが安心して暮らすためには「もっと気楽に」と伝えたいですね。森 同感ですね。いろんな親子、家庭でそれぞれ事情を抱えているので、正論や理想論ではなく「出来ることを一緒に探そう」というスタンスで、一歩踏み出すのを支えたいですね。博 安心・安全な家庭で暮らしていただくために、防犯の基本として最悪の状況を考えておくことをお伝えしたいです。具体的には、家の周りの死角を失くす。不審者は見られること、見つかることを嫌いますから、とにかく隠れられるような場所をなくすことが大切。そして家の周りに侵入用具を置か

まずは直接関わってみる。そして、みんなが同じだという意識を持つこと

みんなが安心して暮らすためにはルールが必要です。家族独自のルールを決め、子どもに書かせて壁に貼っておくと、主体性が出やすいですね。ゲームの時間など、些細なことでもいいんです。次にお手伝い。今、自己肯定感が低い子どもが増えている、共通の口癖は「どうせ」。そこで、自信を持たせるのに一番良いのがお手伝いなんです。「ありがとう」「助かるよ」と感謝される体験が、自分は自分であっていいという肯定感を高めめます。これも小さなことでもいいですよ。子どもやパートナーに対して認める声かけも大切ですね。よく「褒めましょう」と言われますが「褒めるのが大変」と逆にストレスになると、親子どちらにもよくありません。「すごい」と無理して褒めようとするより「丁寧に取り組んでいたね」「最後まで出来たね」と事実をそのまま言葉にして伝えるだけで、子どもは認めてくれていてと安心できます。最後に、失敗しても大丈夫という雰囲気を作る子どもが増えています。体育が苦手だから体育の日は休む、音楽の日は休むといった感じです。失敗しても大丈夫、という気持ちは、周りの大人が失敗する姿を積極的に見せることで培われます。そうすることで安心して何にでもチャレンジできるはずです。

大 静かにしている人も内面で困っていたり、くすぶらせていたりすることが少なくないですね。みんなが安心して暮らすためには「もっと気楽に」と伝えたいですね。森 同感ですね。いろんな親子、家庭でそれぞれ事情を抱えているので、正論や理想論ではなく「出来ることを一緒に探そう」というスタンスで、一歩踏み出すのを支えたいですね。博 安心・安全な家庭で暮らしていただくために、防犯の基本として最悪の状況を考えておくことをお伝えしたいです。具体的には、家の周りの死角を失くす。不審者は見られること、見つかることを嫌いますから、とにかく隠れられるような場所をなくすことが大切。そして家の周りに侵入用具を置か



まってる人たちには「もっと気楽に」と伝えたいですね。森 同感ですね。いろんな親子、家庭でそれぞれ事情を抱えているので、正論や理想論ではなく「出来ることを一緒に探そう」というスタンスで、一歩踏み出すのを支えたいですね。博 安心・安全な家庭で暮らしていただくために、防犯の基本として最悪の状況を考えておくことをお伝えしたいです。具体的には、家の周りの死角を失くす。不審者は見られること、見つかることを嫌いますから、とにかく隠れられるような場所をなくすことが大切。そして家の周りに侵入用具を置か

まってる人たちには「もっと気楽に」と伝えたいですね。森 同感ですね。いろんな親子、家庭でそれぞれ事情を抱えているので、正論や理想論ではなく「出来ることを一緒に探そう」というスタンスで、一歩踏み出すのを支えたいですね。博 安心・安全な家庭で暮らしていただくために、防犯の基本として最悪の状況を考えておくことをお伝えしたいです。具体的には、家の周りの死角を失くす。不審者は見られること、見つかることを嫌いますから、とにかく隠れられるような場所をなくすことが大切。そして家の周りに侵入用具を置か

まってる人たちには「もっと気楽に」と伝えたいですね。森 同感ですね。いろんな親子、家庭でそれぞれ事情を抱えているので、正論や理想論ではなく「出来ることを一緒に探そう」というスタンスで、一歩踏み出すのを支えたいですね。博 安心・安全な家庭で暮らしていただくために、防犯の基本として最悪の状況を考えておくことをお伝えしたいです。具体的には、家の周りの死角を失くす。不審者は見られること、見つかることを嫌いますから、とにかく隠れられるような場所をなくすことが大切。そして家の周りに侵入用具を置か

地域の安全は地域のコミュニティが作る。スポーツで健全な心を

まってる人たちには「もっと気楽に」と伝えたいですね。森 同感ですね。いろんな親子、家庭でそれぞれ事情を抱えているので、正論や理想論ではなく「出来ることを一緒に探そう」というスタンスで、一歩踏み出すのを支えたいですね。博 安心・安全な家庭で暮らしていただくために、防犯の基本として最悪の状況を考えておくことをお伝えしたいです。具体的には、家の周りの死角を失くす。不審者は見られること、見つかることを嫌いますから、とにかく隠れられるような場所をなくすことが大切。そして家の周りに侵入用具を置か

まってる人たちには「もっと気楽に」と伝えたいですね。森 同感ですね。いろんな親子、家庭でそれぞれ事情を抱えているので、正論や理想論ではなく「出来ることを一緒に探そう」というスタンスで、一歩踏み出すのを支えたいですね。博 安心・安全な家庭で暮らしていただくために、防犯の基本として最悪の状況を考えておくことをお伝えしたいです。具体的には、家の周りの死角を失くす。不審者は見られること、見つかることを嫌いますから、とにかく隠れられるような場所をなくすことが大切。そして家の周りに侵入用具を置か



※8 知らないがゆえの誤解が根強く ※6の事件でも取り上げられた、障がい者に対する考えや対応について、根底に存在してしまっている差別や偏見というものが表面化した事例だともいえる。まずは、理解や関心から入り同じ世界に生きるもの同士という事を認識することも必要ではないだろうか。

※7 指差し呼称での確認 信号、標識、計器、作業対象、安全確認などの目的で、指差しを行い、その名称と状態を声に出して確認すること。ミスや労働災害の発生確率を格段に下げることができることが証明されている。状況により手や足をすることも効果的。

※5 振り込め詐欺の被害も相変わらず 静岡県警の発表によると2015年に県内で発生した振り込め詐欺などの特殊詐欺被害は約7億円で、前年と比べて3億5千万円ほど減少。しかし被害件数は前年より101件増え、1件当たりの被害額が少なくなる傾向が目立った。

※4 県下27警察の中で犯罪件数は12番目

市町村別犯罪件数(平成27年度)		
1位	浜松中央 2506件	11位 御殿場 725件
2位	静岡南 1968件	12位 藤枝 654件
3位	沼津 1894件	13位 袋井 629件
4位	静岡中央 1848件	26位 菊川 276件
5位	富士 1843件	27位 天竜 99件

(藤枝警察署、藤枝地区防犯協会の資料を引用)

※3 アレルゲンを表示することが義務づけられる 2015年4月の法改正により表示義務があった卵・乳・小麦・そば・落花生・えび・かにの7項目に加え、パン(小麦粉を含む)、生クリーム(乳成分を含む)、植物油脂(大豆を含む)などの加工食品にも表示が義務化された。

※2 栄養教諭が食育の授業 栄養教諭は2005年の学校教育法改正により栄養状態の管理や、栄養教育の推進を目指して設けられた職業で、栄養教諭普通免許状(専修、一種、二種)を有した正規教員。栄養の指導及び管理を司り、定期的な食育の授業を行う。

※1 防災頭巾になる座布団 防災意識の高い静岡県をはじめ主に中部・関東に見られる文化。北海道や西日本ではほとんど見られないため不思議がられてしまう。2011年の震災以降に注目を集め、その認知度は全国的に少しアップしている。

## Q4 パラリンピックの競技数はいくつあると思いますか？

回答者平均 約 **20.5** 種目

リオパラリンピック

**22** 競技 **528** 種目

リオオリンピック

**28** 競技 **306** 種目

オリンピックより 1.7 倍も種目が多い！

アンケートの回答平均は20種目強と、実際の競技数とほぼ同じ認識。ただ、パラリンピックの場合は、視覚、脳性まひ、同じ上肢や下肢障がいでもひざ上、ひざ下などによってクラスが異なるため、各競技の中でさらに種目数が細分化されるのが特徴。その種目数はオリンピックの約1.7倍！

## Q5 障がい者スポーツの国際大会、知っていますか？

### パラリンピック

主に肢体不自由の身体障がい者（視覚障がいを含む）のオリンピック（1948年から開催）

アンケート認知度 **100%**

### デフリンピック

聴覚障がい者のためのオリンピック（1924年から開催）

アンケート認知度 **10.6%**

### スペシャルオリンピックス

知的障がい者の大会（1968年から開催）

アンケート認知度 **8.5%**

### 障がい者のオリンピックは3つあります

TV放映も盛んなパラリンピックの認知が100%なのに対し、実はパラリンピックよりも歴史のあるデフリンピック（デフ=deaf=聾（ろう）の意）、知的障がい者のためのスペシャルオリンピックスの知名度はまだ低い。

答えはいろいろ、「私」はこう思う！

# 50人のお悩み



## テーマ 障がい者とスポーツ

【回答者の内訳】

男 18人

女 32人

20代 — 3人

30代 — 20人

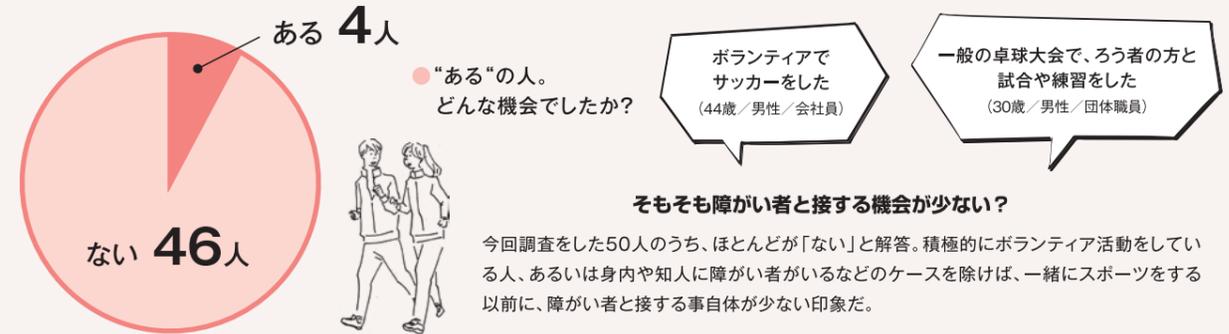
40代 — 13人

50代 — 7人

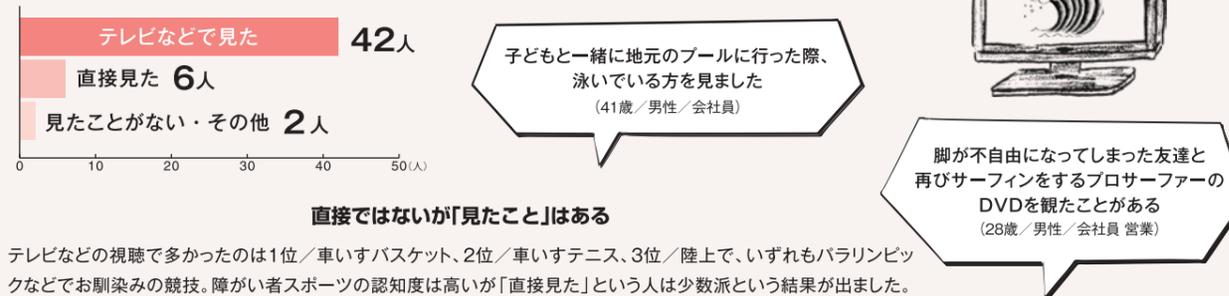
60代 — 6人

70代 — 1人

## Q1 障がい者と一緒にスポーツをしたことがありますか？



## Q2 障がい者スポーツを「見た」ことがありますか？



## Q3 障がい者と一緒にするならどんなスポーツ？



## Q6

どんな競技か説明できますか？



### ウィルチェアーラグビー

説明できる **33%** ラグビーやバスケット、ホッケーなどがミックスされた競技で、パラリンピック競技の中では唯一、車いす同士のぶつかり合いが認められている。

### アンブティサッカー

説明できる **35%** 主に上肢、下肢の切断障がいを持った人がプレーするサッカー。リハビリ用ステッキを使用した気軽な競技として認知が広がっている。

### ブラインドサッカー

説明できる **69%** 視覚障がい者がプレーできるように考案されたサッカーで、日本での正式名称は「視覚障がい者5人制サッカー」。ルールはフットサルに近い。

### ジャベリックスロー

説明できる **4%** 「ターボジャブ」という用具を使用し、やり投げの規則に準じて飛距離を競う投てき競技。安全性が高いため障がい者や小中学生などに推奨されている。

### サウンドテーブルテニス

説明できる **29%** 視覚障がい者が参加できるようにルールを変更した卓球で、台上でボールを転がしネットの下を通して打ち合う競技。アイマスクを付けて行われる。

### ポッチャ

説明できる **20%** ヨーロッパで考案された障がい者スポーツ。車いす上からの白いボールに6球ずつのボールを投げるカーリングのような競技。

### 障がい者スポーツはルールが独特？

ルールがシンプルなこともあり、サッカー系競技の認知度が高い結果に。リオパラリンピックで日本勢の活躍が光ったウィルチェアーラグビー、ポッチャに関しては「名前を知っているけど正確なルールを知らない」という人が多数でした。

## Q7 健常者と障がい者が一緒にスポーツを楽しむために優先すべきことは何ですか？

1位 障がい者スポーツ施設の充実させる

2位 指導者やトレーナーを増員する

3位 器具、道具の入手をやすくする

4位 テレビやインターネットなどの露出を増やす

5位 学校の体育教育に障がい者とのスポーツ体験を取り入れる

施設利用都合など道具の充実、垣根のないインフラ整備が必要 (43歳/男性/会社員)

障がい者がスポーツを楽しむことに限定せず、障がい者が日常生活をより自由に動けるように医療関係者がもっと研究を進めるべき (31歳/男性/会社員)

面白くてタメになる映画、あります。  
**PICK UP MOVIE**

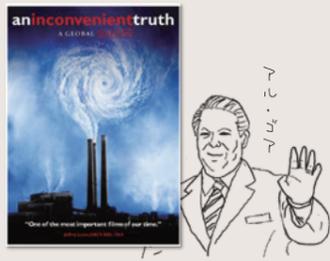
地元生粋の映画ツウが、毎号のテーマに沿った“実”になる映画作品を紹介。今回はじっくり考えて観たい社会派ドキュメンタリー3作が揃いました。

今回のテーマ **あんしん・あんぜん**



『ザ・トゥルー・コスト〜ファストファッション 真の代償〜』DVD  
 2015年公開/アメリカ/93分  
 アンドリュー・モーガン/監督

大量生産・大量消費により、衣服の価格が低下する一方で、人や環境が支払う代償は著しく上昇しています。衣服に対して、本当のコストを払っているのはだれか？毎日身に付ける身近な衣服が作られる裏側を知り、環境や消費について考えることは、未来の安心・安全な世界をつくる上で必要なひとつの要素かもしれません。



『不都合な真実』DVD  
 2007年公開/アメリカ/96分  
 デイビス・グッゲンハイム/監督&製作総指揮

地球温暖化を扱ったドキュメンタリー。本作品をきっかけにノーベル平和賞を受賞したアメリカ元副大統領のアル・ゴアが環境問題の重要性をユーモアたっぷりで訴えかけます。とてもわかりやすく、説得力のある話術とプレゼンテーションにも注目。この作品を観ると、少しでもエコなことを実践しようと思はずです。



『スーパーサイズ・ミー』DVD  
 2004年公開/アメリカ/98分  
 モーガン・スパーロック/監督&製作

「1ヶ月間、ファーストフードだけを食べ続けたら、人間はどうなるのか？」その奇想天外で衝撃的な記録を綴る実験ドキュメンタリー。ファーストフードは、健康に悪いと認識してはいるものの、多くの人が利用しているのが実際のところ。この作品を観たら、あなたの食生活への意識が変わるかもしれません。

藤枝シネ・ブレイゴ  
**水元信行** 支配人 Nobuyuki Mizumoto

都市開発が盛んなJR藤枝駅前という好立地にあるシネコンの支配人。新作・名作はもちろん、知る人ぞ知る迷作(?)まで、幾多の作品を観てきた経験に基づき、独特の切り口で新しい映画の楽しみ方をご案内する。



若い従業員が真剣な眼差しで酒造りに励む。蒸した米に麹菌を散布し、それを揉み込んでいるところ。

「志太の伝統(=トラッド)を温め  
 新しきを知る」

**シダトラ**

Vol.3 杉井酒造

酒処・志太でも昔堅気な製法にこだわる杉井酒造のお酒は、香り豊かで濃厚な味わい。歴史ある蔵の中でぶちぶちと呼吸をする自然の酵母は、蔵人たちにやさしく見守られていました。

この蔵にしか出せない、伝統的な酒を造りたい

清流に恵まれた静岡各地では古くから酒造りが盛んで、今も続く酒蔵は多い。杉井酒造もその一つだ。6代目の杉井均乃介さんは、社長として、杜氏として天保十三年創業の蔵を守っている。

杉井酒造の一番の特徴は、生酛(きもと)・山麴(やまこ)・菩提酛(ぼだいも)に特化していること。「江戸時代までは、自然に乳酸菌が発生して発酵するのを待つ『生酛』が主流だったんですが、明治期に乳酸を添加して発酵させる『速酛(そくじょ)』という方法が考案されました。一時はうちでも生酛はやらなくなっていました。が、この蔵にしか出せない、伝統的な酒も造ってみたいと思い、復活させました。米の精米歩合を高くして酵母を作る山麴、古代の醸造方法である菩提酛なども同じですね」

口当たりが軽くフルーティな酒が多い静岡で、ゆっくり時間をかけて醸された生酛の酒は、深いコクと複雑な味わいを感じられる。県外でも人気が高く、全国各地にファンがいるという。どしどしとした太い梁が頭上を通る蔵には、現代的な酒造りのための機器や、繊細な温度管理を行う部屋がある一方、昔から



酒をしぼってきた「ふね」とよばれる道具が、今なお現役で使われている。生酛の復活などさまざまな試みに挑む6代目は、一方で「伝統を受け継いでいるという感覚は、実はあまりないんですよ」と笑う。「18年前に杜氏になってから、思いつくことはだいたいやってみたつもりです。今は、それらをもっと掘り下げていく時期。時代のニーズに合わせてつつ、杉井酒造の酒を発信していきたいですね」

「杉錦 山麴純米 古式仕込」  
 地元・藤枝北高校の生徒たちが採取した天然麹菌と「サッカロマイセス・エド」という昔の酵母を使った山麴純米酒。杉錦らしい素材で深い味わい。

6代目 杉井均乃介さん

代表であり杜氏。酒造りに取り組みつつ、週末は日本酒のイベントに飛び回るなど大忙しの日々。ワインもたしなむが「そんなにお酒は強くない」そう。酒蔵では直売も可。好みを伝えればぴったりのものを提案してくれる。



Information  
**杉錦蔵元 杉井酒造**

住所 藤枝市小石川町4-6-4  
 TEL 054-641-0606  
 営業時間 8:00~12:00 / 13:00~17:00  
 ホームページ <http://suginishiki.com/>



今回のチーム

**藤枝中学校保健委員会**

2016.9.20 @藤枝中学校体育館



社会を **平** にするチーム

世のため人のため。さまざまなフィールドで社会貢献度の高い取り組みをしている企業や団体をピックアップするコーナー。

「安心・安全」をみんなで作る、  
 よりよい藤枝に!

9月20日(火)、藤枝中学校保健委員会が行われた。この委員会の特徴は、生徒だけでなく保護者や地元の自治会長、民生児童委員、保護司といった地域の大人が一緒に参加することだ。テーマは「藤中生の心身の健康を考える」安心して生活できる学校・地域づくりに向けて。座長に早稲田大学名誉教授の菅野純先生を迎え、1部では生徒と保護者によるパネルディスカッション、2部ではグループ協議会が行われた。

グループ協議会では生徒に実施したアンケート結果をもとにテーマを設定し、10のグループに分かれて議論が行われた。スマホやSNSの影響、いじめ、睡眠不足の解消など、生徒自身が普段から問題視しているテーマを、大人たちも自分のことのように考えて真剣に話し合うなど、生の声を交わすことができたそう。「市民総がかりの教育」の実践とともに、大人たちにとっても、発見のあふれる貴重な機会となった。

平なVOICE!



profile

南條 怡三(よしみつ)さん  
 静岡県藤枝地区保護司会 社会貢献活動担当  
 趣味: 名所・旧跡の見学旅行

最初は会話ができるだろうかと心配しましたが、司会の生徒さんの進行がとても分かりやすく、本当に思いが深い会になりました。少子化は何かと不安視されますが、今回素晴らしい子どもたちと関わりあえたことで、希望が持てました。今までに感じたことのない、心温まる気持ちで帰途に着きました。



**Fukuta Mai** ふくた まい  
**ふくた ゆい** Fukuta Yui

1998年愛知県津島市生まれの双子。兄の影響でともに幼稚園年長からサッカーを始め、中学3年までNGU名古屋FCレディースに所属。揃って藤枝順心高校に進学する。ポジションは、ゆいMF(主将)、まいGK。2016年1月の全国高校女子サッカー選手権大会では同校9年ぶり2度目の優勝。8月の高校総体では初優勝に大きく貢献。卒業後は日本体育大学(まい)、プロチーム(ゆい)と進路が決まっている。ともにU-18日本代表候補(2016年9月時点)。

**ゆい** 最初は練習のレベルが高くて、この中でやっていけるのかなと思いましたが、でもチームメイトの仲がいいので、本当に楽しい。寮生活で、日用品などは自分たちで買わないといけないんですけど、みんな一緒に近くのスーパーに買い物に行ったりしますよ。休日は静岡まで、まいと一人で自主トレーニングに行きます。体幹を鍛えたいので、パーソナルトレーナーのもとでトレーニングをすることが多いですね。

**まい** 普段の練習は朝と夕方です。放課後の練習は90分と決まっているので、コンパクトな中でどうやって集中して効果的に練習できるか、頭を使いますね。それと、同年年のチームメイト16人のうち9人が寮生活なので、結束力が強いんです。北海道や福岡から来ているメンバーもいます。

**ゆい** 藤枝は、特に高校サッカーに対し

**まい** 結果はPKで負けましたが、試合の内容がとても感動的でした。この学校でサッカーをしたい!と思えました。その後、実際に順心高校との試合を経験し、コーチから声をかけていただいたりして進学を決めました。

**ゆい** 高校に入ってからサッカー中心の生活だと思えますが、藤枝での毎日はいかがですか?

**ゆい** 最初は練習のレベルが高くて、この中でやっていけるのかなと思いましたが、でもチームメイトの仲がいいので、本当に楽しい。寮生活で、日用品などは自分たちで買わないといけないんですけど、みんな一緒に近くのスーパーに買い物に行ったりしますよ。休日は静岡まで、まいと一人で自主トレーニングに行きます。体幹を鍛えたいので、パーソナルトレーナーのもとでトレーニングをすることが多いですね。

**まい** 普段の練習は朝と夕方です。放課後の練習は90分と決まっているので、コンパクトな中でどうやって集中して効果的に練習できるか、頭を使いますね。それと、同年年のチームメイト16人のうち9人が寮生活なので、結束力が強いんです。北海道や福岡から来ているメンバーもいます。

**ゆい** 藤枝は、特に高校サッカーに対し

**まい** 私は日本体育大学に進学します。今のレベルには満足していないし、まだまだ足りないと思うので、基礎から練習したいです。教員免許も取りたいですね。

**ゆい** 私はプロチームから声をかけていただいているので、どこまでできるかわからないけれど、チャレンジしてみようと思っています。

**まい** お二人ともU-19の日本代表に選ばれていますが、憧れているサッカー選手はいますか?

**ゆい・まい** 杉田妃和さん!順心高校出身。現INAC神戸所属

**まい** 高校の2年上の先輩で、プレーも人柄もとにかくステキで大好きです。

**まい** 最後に、これからの目標・夢を教えてください。

**ゆい** 一番近い目標は来年1月の選手権ですが、いつかワールドカップで代表に選ばれたらいい!

**まい** 4年後の東京オリンピックのときには22歳なので、そこで代表に選ばれるように頑張りたいです!



# The 藤枝ドリリーム

藤枝に縁のある偉人・賢人にスペシャルインタビュー

Vol. 3

放課後、ユニフォーム姿で登場した福田ゆいさん、まいさん。強豪である藤枝順心高校サッカー部を、全国高校女子サッカー選手権大会や、夏の高校総体で、全国優勝に導いた主要メンバーだ。とにかくサッカーが好きでたまらない、という双子の姉妹は、全国大会のことや、憧れの選手の話に及ぶと、目をキラキラさせてインタビューに答えてくれた。藤枝でサッカーひとすじの高校生活を送る二人の話から、ともに練習に励む仲間や応援してくれる家族の存在が垣間見える。

## 4年後の東京オリンピックピックが楽しみ(ゆい) 商店街の応援バナーを見て、サッカーの街だなって思う(まい)



高校選手権の優勝旗が王者の証!

**ゆい** 中2のときに、テレビで藤枝順心高校の試合を観たのがきっかけです。全国高校女子サッカー選手権大会の準々決勝で、相手は東京の修徳高校だったんですけど…

**まい** 結果はPKで負けましたが、試合の内容がとても感動的でした。この学校でサッカーをしたい!と思えました。その後、実際に順心高校との試合を経験し、コーチから声をかけていただいたりして進学を決めました。

**ゆい** 高校に入ってからサッカー中心の生活だと思えますが、藤枝での毎日はいかがですか?

**ゆい** 最初は練習のレベルが高くて、この中でやっていけるのかなと思いましたが、でもチームメイトの仲がいいので、本当に楽しい。寮生活で、日用品などは自分たちで買わないといけないんですけど、みんな一緒に近くのスーパーに買い物に行ったりしますよ。休日は静岡まで、まいと一人で自主トレーニングに行きます。体幹を鍛えたいので、パーソナルトレーナーのもとでトレーニングをすることが多いですね。

**まい** 普段の練習は朝と夕方です。放課後の練習は90分と決まっているので、コンパクトな中でどうやって集中して効果的に練習できるか、頭を使いますね。それと、同年年のチームメイト16人のうち9人が寮生活なので、結束力が強いんです。北海道や福岡から来ているメンバーもいます。

**ゆい** 藤枝は、特に高校サッカーに対し

藤枝順心高校3年  
**福田まい**

藤枝順心高校3年  
**福田ゆい**

# 社会福祉法人 ハルモニア

## ご支援・ご協力ありがとうございます

(平成28年8月1日～平成28年11月1日)

敬称略・順不同

### 古紙回収

新規サポーター  
(有)アール工業

企業サポーター  
個人サポーター

合計236ヶ所

### 施設外就労・施設外支援

(株)ジャレード  
(株)ソニーDADCジャパン  
殿村食品(株)  
レック(株)

(株)ロジテムツムラ  
(株)静環検査センター  
(医)はた医院

合計7ヶ所

### 花ぼうろ

藤枝市 焼津市 島田市 町内会様 ほか

合計107ヶ所

### 寄付

青島克郎様

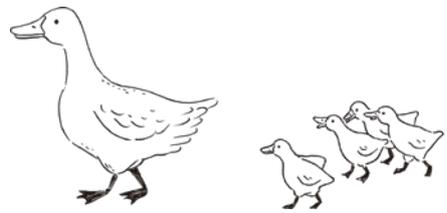
赤堀信夫様

### パン販売

島田市役所  
平成記念病院  
学校法人藤枝学園  
藤枝明誠高等学校

藤枝特別支援学校  
まんさいかん  
藤枝市民大洲温水プール

合計6ヶ所



## 地域の皆さまと共に

生活様式の変化とともに、地域ぐるみのお付き合いの形も多様になっている今では、各地域単位で協力して助け合い、安心して暮らすことができる仕組み作りがあらためて求められています。ハルモニアではその一環として、企画段階から「お祭り」に参加し、日常的に地域の皆さまと触れ合う場面や様々な発見のチャンスとなるよう活動しています。お互いの事を知り、誰もが安心して暮らせる地域作りをこれからも推進していきます。

### 光洋台祭り

体験型のお店も出展し、世代を越えたコミュニケーションが生まれる工夫も。



### ふれあい祭り

ハルモニアの本拠地である青葉町では、やきそば販売や風船すくいでお祭りを盛り上げました。

### 南風まつり

アドバイスをいただきながら、商品を販売しお年寄りとも触れ合える機会に。



※地域の皆さまありがとうございました。これからも宜しく願います。

ハルモニアの決算詳細、事業内容等はホームページで公開しています。

是非、ハルモニアホームページへお越しください。



http://www.harmonia-fujieda.com

## HARMONIA MAGAZINE 表紙こぼれ話

### 「安全!だから安心?」

近年、これまで安全だと思われてきた事柄について、イメージや信頼を揺るがす事件や災害に関するニュースが多く取り上げられるようになりました。テレビやメディアの中だけでなく、私たちの身の周りでもそうした事態はいつ起きてもおかしくはありません。そうした中、今回のハルモニアマガジンでは日々の暮らしの中で“安全”と思われている事柄について様々な視点で改めて考え、心から“安心”と思えるよう自ら工夫をしてみるなど気付きや行動のきっかけになればと思います。…あなたの暮らしの中での“当たり前”は“安全”でしょうか??



ハルモニア理事長 大長昭子